長野県レスリング協会国民体育大会選考基準

（令和元年８月２３日改訂）

１　国体少年選手選考の基準

Ⅰ　選考・予選会について

〇北信越大会後に、国体に派遣する階級・スタイルを決定する

・選考会議は、北信越大会の翌週（月曜日か火曜日）が望ましい

・対象となる大会の上位者から階級・スタイルを決定する

・スタイルの割合は、Ｆ－４、Ｇ－３かＦ－３、Ｇ－４

〇選考会議を行い、国体に派遣しない階級を決めるが予選会は全ての階級で実施する

〇原則として、本国体には資格取得者（国体予選優勝者）が出場する。但し、インターハイと全グレにおいて全国シードを取得した場合は、シードを取得した選手を出場させる。スタイルも同様。

Ⅱ　階級の選考方法

対象となる大会「全国選抜大会　春北信越大会　前年秋北信越新人大会」

以下の大会結果で上の順から実施階級を決めていく。

① 全国選抜大会　３位以上

② 全国選抜大会　ベスト８

③ 全国選抜大会　ベスト１６

④ 春北信越大会　１位

⑤ 春北信越大会　２位

⑥ 春北信越大会　３位

同率の場合

⑦ 北信越選抜大会

⑧ その他

２　国体成年選手選考の基準

各種大会や昨年度の国民体育大会での成績を参考に、強化委員会でターゲット選手を決め、階級・スタイルを決定する。

・スタイルの割合は、Ｆ－４、Ｇ－２かＦ－２、Ｇ－４かＦ－３、Ｇ－３

以　上